

令和4年度 大館市立矢立小学校 学校評価書(前期) 年度)

学校教育目標

ふるさとを誇りに 夢や目標に向かって 主体的に生きる 児童の育成

目指す学校像

- ◎子どもの元気と笑顔、活力を地域に届ける学校 (矢立築学校)
- ◎地域と学校が連携・協働で子どもを育てる学校

目指す子ども像

矢立杉林のように 大地にしっかりと根を張り合い それぞれが大空に向かって たくましく伸びる子ども

目指すふるさとキャリア教育

- 矢立の人・もの・こととの関わりを広げ、ふるさとを誇りに自分のよさを発揮
 - ◇郷土愛 ◇主体性 ◇自立心 ◇発信力

目指す授業

- ◇子どもが試行錯誤し、根拠を明らかにして学ぶ授業(理解の深化)
- ◇子ども同士が助け合い、励まし合い、高め合う授業(学び合いの充実)
- ◇自らの努力や成果を自覚できる授業(自己肯定感と自信の向上)
 - ↑
 - ◇一人一人の確かな見取りと適切な指導・支援のある授業(基礎・基本の定着、教師のコーディネート)

重点事項

- 1 基礎・基本の定着と説明する力の育成
- 2 効果的な2複式学校運営
- 3 児童が主体となるPJ(プロジェクト)や活動
- 4 幼保・小中、地域施設等との連携

いつでもどこでも一人でも!

「なぜだろう?」不思議発見 ハテナ解決



自分のためにみんなのために!

【矢立っ子の合言葉】



【4月:1名の新入生を迎えての入学式】



【5月:自分の力を出し切った運動会】



【6月 左:3年ぶりの函館=修学旅行、右:全校で登った縫戸山登山】



【7月:夕食は防災食=自然教室】

ア
児童の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自律的な生活

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
よりよく生活し安全に過ごそうとする意欲と能力を高めている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	あいさつに関するポイントダウンは注意しなければならない。マスクの影響ではという意見もあるが、確かにほつらつさに物足りなさを感じる。あいさつ運動では、良いあいさつを教えて、基準の底上げに取り組んで欲しい。そのためには先生や保護者が見本にならないといけないという意見があります。お手本となるように協力して取り組んでください。役割については、特に保護者が物足りなさを感じています。学校でも家庭でも褒めることが役割の自覚に結び付くと信じて、小さなことから取り組ませ、褒める機会増やしていきましょう。
	年度		

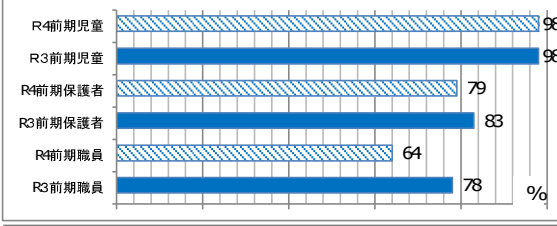
【前期(一年度)】
あいさつについては、全体的にはよくできているが、個々に見ると「もう少し」という児童もいる。児童主体のあいさつ運動などの取組を継続しながら、よくなってきた児童をほめ、あいさつの輪を全体に広げていく。規則正しい生活については、メディアとの関わりが大きく影響している。保護者との連携を図りつつ、チェックカードの活用や児童会からの呼びかけにより、リズムよい生活ができるようにしたい。安全面での評価は高いが、命に関わることであるので、正しい行動がとれるように、繰り返し指導していく。

【年度(一次年度)】

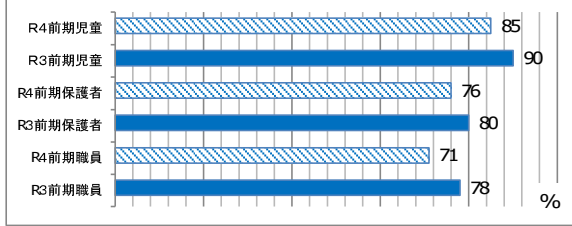
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1) 明るい挨拶	・挨拶について考える場の設定 ・挨拶運動	3	
	(2) 規則正しい生活	・家庭との連携(早寝、早起き、朝ご飯) ・始まるの時間を意識した学校生活		
2 集団生活・集団活動	(3) 自分の役割に責任をもつ態度の育成	・自ら進んで取り組む活動 ・家族の一員としての自覚	3	
3 安全に過ごすための行動	(4) 安全教育的の充実	・飛び出し防止の指導 ・交通安全教室 ・判断力を高める避難訓練	4	

〔1に関するデータ〕

(1) 明るい挨拶



(2) 規則正しい生活



保護者アンケート記述より
・自ら進んでというのが足りない。

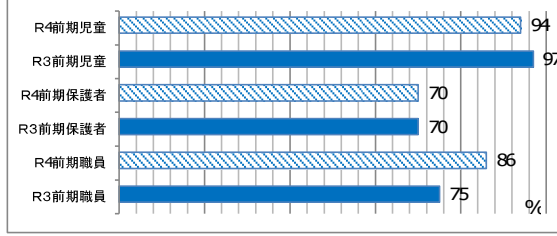
昨年度から見ると、全体的に数ポイント下がっている。下がり方が大きいのは、「明るい挨拶」に関する教職員の数値である。職員会議では、「あいさつはできているがほつらつとしていない。」「来校者や外部の方にも積極的にあいさつができるようになればよい。」などの声があった。随時指導したり、児童が主体となったあいさつ運動を展開したりしているが、さらに一人一人の意識を高めていく必要がある。取組を推進しながら、少しずつでも着実に効果が表れるようにしていく。規則正しい生活では、早寝早起きやメディアの使用時間の徹底が結果に関与している。自律のために、今、何が大事なのか、学級指導の他、委員会での児童の呼びかけを想起させながら、生活習慣の改善に取り組んでいく。



【毎月11日はあいさつ運動の日】

〔2に関するデータ〕

(3) 自分の役割に責任をもつ態度



この項目では、児童の数値が少し下がっているものの、教職員の数値は10P程度上がっている。当番や係、委員会活動などが充実していると捉えている。保護者の結果は、昨年度と変わらないが、学校のみならず、家庭でも役割を持たせながら家族の一員としての自覚を促したい。

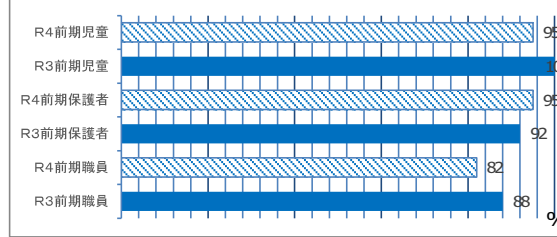


【高学年が1年生に掃除の仕方を指導】

保護者アンケート記述より
・「進んで」がまだできていないので、がんばらせたいと思います。

〔3に関するデータ〕

(4) 安全教育的の充実



安全面では、全体的にはよい傾向であるが、低学年で飛び出しや廊下歩行が不十分と回答する児童が2名(7%)いた。また、今年度もPTAによる横断歩道のペンキ塗りが行われ、グラウンドへ行く際の横断など、注意喚起が図られている。



【左：交通安全教室での横断風景 右：PTAによる横断歩道ペンキ塗り】

ア 児童の状況

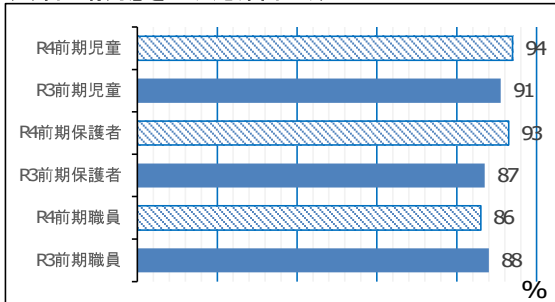
II 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いに認め合い、助け合いながら物事に取り組み、自分たちの力で解決していく活動の充実が図られている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	友だちの良さや頑張り、自分の良いところを見つける面が高ポイントであることが嬉しい。しかし、自分の良いところを見つけられなかった4名をしっかりと応援してあげて欲しい。いじめについては、児童ヒアリングからもあることは事実だが、回避の方法や相談することが身に付いていることが分かりました。学校の指導による成果と一緒に行事に取り組んだり、縦割り活動することで柔軟な対応が出来ているものと思います。
	年度			
校自の己改評善価策の概要と学	【前期(→年度)】 自己有用感、自分で気付くこともあるが、多くは他人から「ありがとう」と言われたり認められたりすることで自覚することが多い。これからも、帰りの会や振り返りの時間などを通して、互いのよさを認め合える場を増やしていく。このことが、達成感を味わえる活動にもつながっていくと考える。いじめについては、未然防止と、いじめが起こった後の対応を大切に、いじめゼロは目指すが、隠したりうやむやにしたりということがないようにする。			
	【年度(→次年度)】			

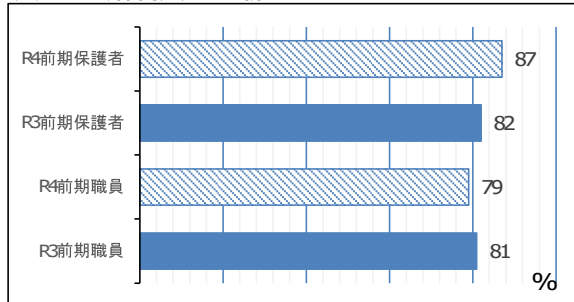
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 共感し合う心	(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり (6) いじめ、諸問題発生防止	<ul style="list-style-type: none"> 互いを認め合う学級づくり 自分のよさに気付く場の設定 縦割り活動の充実 学び合いを大切に授業 早期発見の体制づくり いじめアンケート 教育相談の充実 家庭との連携 	3	
5 一人一人のよさの発揮	(7) 達成感を味わえる活動	<ul style="list-style-type: none"> 運動会、学習発表会、スペシャルデー、感謝集会などの学校行事 学び合いを大切に授業 	4	

【4に関するデータ】

(5) 自己有用感をはぐむ集団づくり



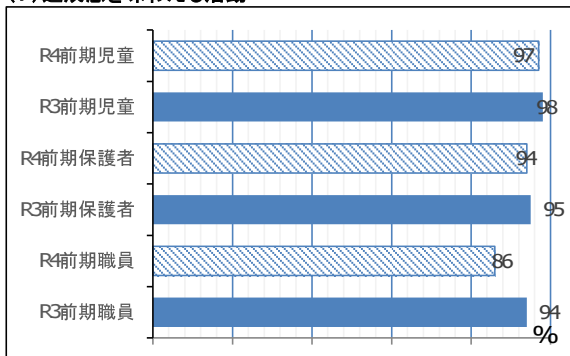
(6) いじめ、諸問題発生防止



児童のアンケートで「友達よさががんばりを見つけることができた」は94Pと高い数値になっているが、一方で、「自分にはよいところがある」は86Pとなっており、自分のよさを見つけられなかったり認められなかったりする児童が4名(14%)いることが分かった。普段から帰りの会等で友達よさについて話す機会を設けているが、さらに授業の振り返り等を通して互いのよさを認め合えるような場面を増やしていく。また、教職員も一人一人のよさをほめて認める場面を増やしていくことで、自己有用感を高めていく。

【5に関するデータ】

(7) 達成感を味わえる活動



保護者アンケートの記述より

・1・2年、3・4年一緒に競技することはよいと思うのですが、メダルなどの表彰は、男女分けたり各学年にした方がよいのかなあと感じました。年上の子には勝てないし、体力も違うので子どもたちがかわいそうでした。



【左:水芭蕉の見学、右:クリーンアップ】

数値的には、職員で8P下がっているが他は同程度である。運動会の表彰については、人数の少ない学年もあることから、勝っても負けても毎年1位で表彰されるよりも、上を目指して挑戦する気持ちを育ててほしいという思いから考慮した結果である。

ア 児童の状況

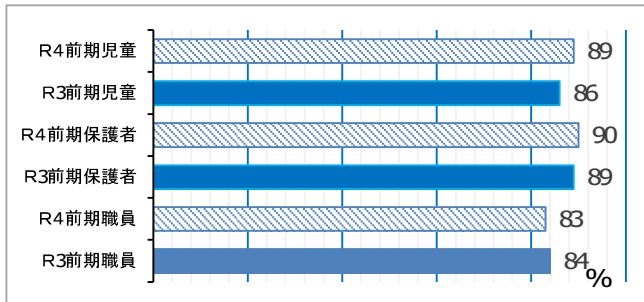
Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
児童一人一人が基本的学習習慣を身に付け、主体的に学習しながら学習内容を定着させている。	前期	おおむね良好	「宿題が多すぎる」という保護者からの意見に対し、先生方としては適量であるとコメントをいただいている。保護者としては家で過ごす時間の割合や集中力が続かないなど悩みや心配があるようです。先生方も子ども達を思い必死に考えた量であることが分かったので、お互いの理解と説明が必要に感じる。
	年度		
と自己校評の価改の善概要策要	【前期(→年度)】 概ね学習習慣は身に付いていると言える。個々に見ると忘れ物などが多い児童もいるが、個別に声をかけている。今年度は、題意を正確に捉えることと、根拠を明らかにして説明することを重点に掲げている。何を聞いているか、問いにふさわしい答えになっているかを明らかにし、理由をもとに説明できる力をつけていきたい。そのためには、学校の学習はもちろん家庭学習の充実も不可欠である。学校での学びが着実に身に付くよう支援していく。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 基本的学習習慣	(8)基本的学習習慣の確立	・矢立っ子「学習の約束」・ノート指導・家庭学習の習慣化 ・各教科における言語活動・表現する場の設定・反復練習	3	
6 学力向上	(9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成	・少人数の特性を生かした基礎、基本の定着・児童主体の授業改善 ・教師の見届けと指導、支援・根拠を明らかにして説明する場の設定	3	

【5に関するデータ】

(8)基本的学習習慣の確立



<保護者アンケート記述より>

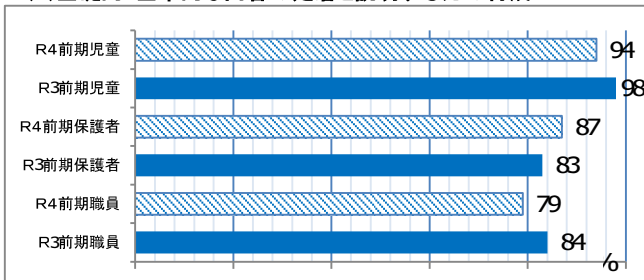
・宿題が多いと思う。

このアンケートでは、昨年度と同程度であり、80%～90%となっており、ほとんどの児童が家庭学習を毎日きちんと行っていることが伺える。ただ、教職員からは鉛筆の長さなど、学用品の準備については、不十分な児童がいるとのことから、個々に保護者への協力を呼びかけていく必要があると捉えている。

保護者からは「宿題が多すぎる」という意見もあったが、教職員としては適量だととらえており、困難な場合には、個別に対応していく。

【6に関するデータ】

(9)基礎的・基本的な内容の定着と説明する力の育成



こちらも、4～5%の差はあるものの、昨年度とほぼ同様の結果となっている。全体的には、よい傾向にあると言えるが、個人差が大きい学年もあることから平均だけでなく、偏差の状況も見取っていき、個別への対応も充実させる必要がある。

<市教委訪問、評議員会の様子から>



【1, 2年 道徳】



【3, 4年 総合】



【5年 外国語】



【6年 算数】

ア 児童の状況

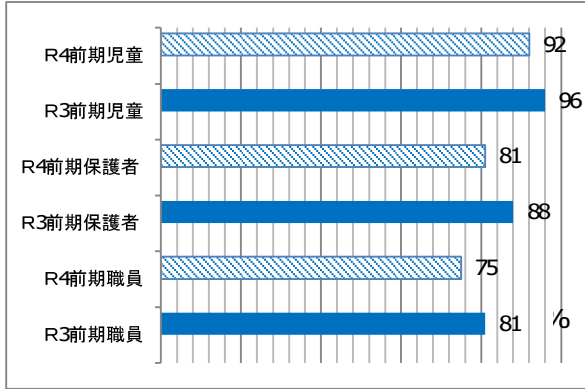
IV 健康と体力

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
児童一人一人に運動の機会を多く与え、家庭と連携して健康な生活習慣の形成に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	データでは割と高い数字となっているが自己評価が何れも3となっている。課題は歯磨きと休み時間の過ごし方でしょうか。休日など家にいる時の歯磨きは保護者の協力を得て楽しく習慣化できるように取り組みを工夫していきましょう。体力づくりは、これから寒くなり体育館に行くのも億劫になりがちですので、楽しく取り組める工夫をしていきましょう。
	年度			
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】	週1回のマラソントイムでは、グラウンドを一生懸命に走る姿が見られる。ただ、普段の休み時間は教室で過ごす児童もいるのでできるだけ外や体育館で体を動かすように促している。給食後の昼の歯磨きはしっかりと行われているが、休日の歯磨きが疎かになる傾向にあるので、家庭でもしっかりと磨けるようカードなどを活用して児童の意識を高めていく。新型コロナは誰が感染しても不思議ではない状況だが、マスク着用、密にならないなどの基本的な対策は怠らないようにしていく。		
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
			前期 年度
8 保健指導	(10)健康的な生活習慣の形成	・早寝、早起き、朝ご飯への取組 ・歯磨き指導 ・One Oneカードの活用(メディア等)	3
9 体力の向上	(11)体力づくり活動の充実	・業間運動の推進 ・外遊びの奨励 ・徒歩通学の推奨	3

【8に関するデータ】

(10)健康的な生活習慣の形成、歯みがき指導



アンケートの結果から、昨年度よりも幾分数値が下がっている。歯磨きについては、これまでの取組を充実させたいところだが、歯科検診の際には「もう少し丁寧に磨いてほしい」と言われる児童がいたことから、保護者の協力も得ながら、歯磨きをしっかりと行えるようにしたい。

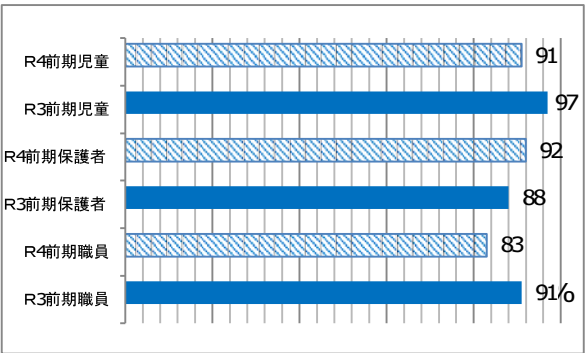
また、新型コロナウイルスの影響でマスクを付ける習慣が身に付いているが、給食の後や休み時間の会話の際に着用が疎かになる児童もいるため、その都度注意をしながら健康管理に努めてきた。



【給食後の歯磨きの様子】

【9に関するデータ】

(11)体力づくり活動の充実



【体力テスト上体起こし】



【鉄棒運動】

アンケート結果から、保護者の数値はよくなっているが、児童や教職員の数値は少し下がっている。天候が不順だったこともあり、外に出かける機会が少なかったことも原因の1つとして考えられる。雨天でも一輪車やなわとび、ボール運動などで体育館を利用して体を動かすよう呼びかけていく。

イ 学校運営の状況

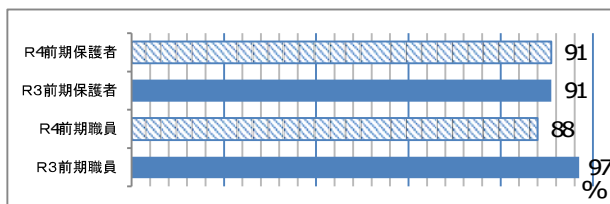
V 組織運営及び保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
学校に実情に合った経営がなされ、保護者、地域との連携が図られている。	前期	良好	良好	今年度は田植えやぶどう狩りを加えこれから稲刈りもある。地域の方々にいい意味が甘えながら地域に合わせた活動が出来ている。これは校長先生の学校経営や重点施策の説明が広く伝わっている表れだと思います。先日の学習発表会での粕田酒こし舞の完成度も年々高くなっている。外で発表する機会もあるとのこと、子ども達の成長にうまく活用できている。引き続きお願いしたい。
	年度			
学 校 自 己 の 評 改 価 善 策 の 概 要 と	【前期(一年度)】 日頃から保護者、地域の方々の協力を得ながら教育活動ができていることに感謝している。また、他校の児童と一緒に学ぶ機会があることもありがたい。新型コロナウイルスの状況にもよるが、老人クラブや婦人会等ともつながりをもてればさらに地域連携が進んでいくものと思う。今後も学校での様子をできるだけ分かりやすく伝え、協力をいただきながら学校経営に努めていく。			
	【後期(一次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 学校の明確な運営	(12) 経営方針や重点施策の明示	・経営方針、重点施策の明確化	4	
11 開かれた学校	(13) 保護者・地域への情報発信	・学校だより、学級だよりの活用 ・諸活動の案内 ・HP、ブログ、緊急メールシステムの活用	4	
12 PTA、地域、他校との連携	(14) PTA、地域、関係機関との連携	・地域のよさを生かした活動 ・PTA活動の充実 ・9年間のスパンでの実践事項 ・他校との交流学習	4	

【10に関するデータ】

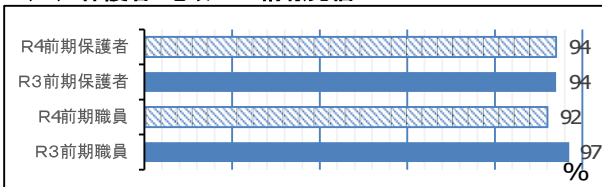
(12) 経営方針や重点施策の明示



教職員の数値が下がっているが、保護者は同程度である。行事等のあいさつでは、学校経営や重点施策に係わる内容を話すようにしている。そして、全ての教育活動が学校教育目標とつながっていることをできるだけ分かりやすく伝えるようにしている。今後も、教職員、保護者、児童、それぞれの目線で目指すべきもの、ことを伝え、行動に移せるようにしたい。

【11に関するデータ】

(13) 保護者・地域への情報発信



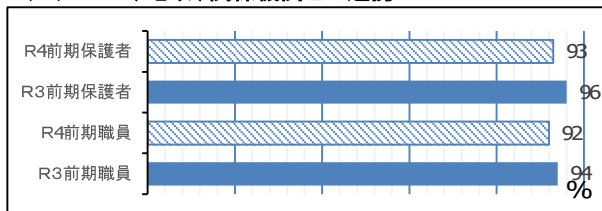
<保護者アンケート記述より>

・ブログで子どもたちの作文がレベルアップしていて、楽しく見せていただいています。

この項目も、教職員は幾分下がっているものの、保護者は昨年度と同じ数値である。ブログは、少し手直ししながら載せているが、予想以上にたくさんの方々が見ていることが分かった。ブログのみならず、学校報などでも情報をできるだけ分かりやすく伝えていきたい。

【12に関するデータ】

(14) PTA、地域、関係機関との連携



【地域の方々の協力を得て(左:田植え、右:雨のプール清掃)】

地域コーディネーターの協力のもと、プール清掃やクリーンアップ、農園活動、クラブ活動等、様々な活動に地域の方々の力を借りることができ、児童は地域の方との交流を深めながら意欲的に活動することができた。
また、今年度は矢立育成園さんのご協力をいただきながら、福祉に関する講話や障害者の疑似体験を行うこともできた。さらに、これまで、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催だった淀ヶ関小学校との交流が新しくなった淀ヶ関小中学校を会場に3年ぶりに顔を合わせた開催となった。完全に収束するまでには、まだ時間がかかると思うが、徐々に外に出かける活動、交流する活動を増やしていきたい、多くの人、もの、ことから刺激を受けて児童の成長の糧にしていきたい。

【全体コメント】

- ・コロナ禍での工夫した活動、運営に感謝いたします。
- ・目指す学校像に掲げた「矢立”笑”学校」を行事（学習発表会）に結び付けていることが素晴らしい。
- ・昨年に引き続き、学習発表会での先生方の合奏と合唱に感動しました。自ら一生懸命に取り組む姿勢を子ども達に見せていただき感謝します。
- ・学習発表会での粕田酒こし舞は年々上手になっています。公民館祭り、大館市民芸術文化祭での発表も楽しみにしています。
- ・児童へ好きな行事や思い出に残っていることを聞きました。
修学旅行（みんなでホテルに泊まったり、協力し合って行動したこと）
自然教室（みんなで食事を作って食べたり、キャンプファイヤーをしたこと）
生活（みんなで協力してやるのが楽しい）
- ・先生へ児童がコロナ関連で欠席の際の対応について聞きました。
 - ・放課後に残ってもらっています。
 - ・復習でフォローしています。
 - ・授業の初めにレベル合わせをしてから始めています。
 - ・友達同士で教え合ったりしてくれている。
- ・保護者へ矢立の良さを聞きました
 - ・学年関係なくみんなが仲が良いこと。

